

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にするチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。



年頭のご挨拶

院長 まる た さかえ 丸田 栄



新年明けましておめでとうございます。新春の爽やかな良き日々を澄みわたった晴れ晴れした雰囲気の中でお迎えのことと、お喜びを申し上げます。

さて社会に目を広げると、昨年の世界情勢は“おや！”と驚くばかりの出来事が沢山ありました。そしてそのどれもが今年に繋がり、時代の不透明感を漂わせて、どうなるのだろう？と見通せない漠然とした不安感を駆り立てます。こうした状況でも病院は迷わず、目の前の患者さんご家族さんの思いに寄り添う診療を的確に届ける必要があります。医療無くして病める生命を救うことは出来ないと思うからです。

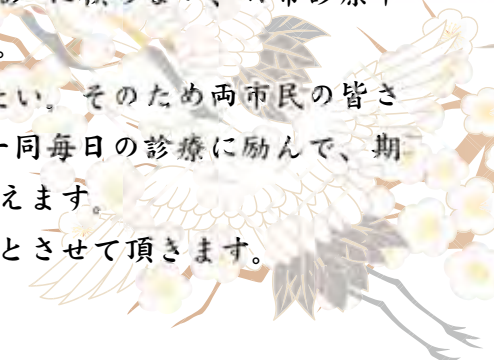
これまで質の高い医療を提供し、毎日揺ぎ無い安心を届け続けるのが、桐生市・みどり市の地域医療を下支えする桐生厚生総合病院の使命であり、理念としてきました。そのために当院は、地域に居住される多くの市民の皆さん方をはじめ、日々患者さんの身近でご活躍されておられる医師会や歯科医師会の多くの先生方、また介護・福祉に携わっておられる方々、またそうした地域でのすべての代表である両行政市から、それぞれの立場にあってのご理解と多大なるご協力とご支援を頂いてきました。そしてこれからも当院が地域包括ケアを基盤に、誰にも開かれた最良の医療体制を堅持して行くために、変わらぬ応援を皆様方に心より願う次第です。

当院は昨年度医師、看護師、各医療職の拡充や専門化など、人材確保への努力を重ねてきました。それでも依然として人的資源が不十分で、各診療科は安全に機能していますが余裕はなく、全ての診療科の開設も未だ途上です。そして24時間365日切れ目のない救急医療の運営では自ずと限界が生じています。一方病院機能としては、地域基幹病院として県内では最新の手術用ナビゲーションシステム(術中撮影装置O-arm2含む)を導入、地域がん診療連携拠点病院として最新型の放射線治療施設への刷新など、病院力の増強にも取り組んできました。

こうした先には当院が理想とする治す医療から予防重視の総合医療への転換を図る将来像もあります。市民の方々には健康増進と自助努力へのご理解を頂き、当院も情報発信や環境改善で協力し、夜間・休日救急への安易で突発的な“コンビニ受診”に頼らない、日常診療中心で質の高い医療による健康社会の実現に参画したいと考えます。

桐生厚生総合病院は今後も皆さんの医療の拠り所であり続けたい。そのため両市民の皆さん方に何時までも見守り、支えていただき、そして私たち職員一同毎日の診療に励んで、期待に応える心のこもった安心・安全の医療に尽くしたい、そう考えます。

当医療圏の益々の発展と成長が叶うことを願って、新年の挨拶とさせていただきます。



地域包括ケア病棟 開設のお知らせ



副院長兼地域医療連携室長 待木 雄一

平成26年4月より、厚生労働省の診療報酬が改定され、急性期医療とその後の亜急性期医療及び地域包括ケア病棟の充実が図られるようになりました。

桐生厚生総合病院におきましては、平成28年10月より、地域包括ケア病棟（6階西病棟、44床）が運用開始となりましたのでお知らせ致します。

地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟とは、ご自宅等への退院準備をしっかりと行い、安心して地域へお戻りいただけるようお手伝いすることを目的とした病棟です。手術や検査などの入院治療が終了した後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対してしばらくの間入院療養を継続し、在宅復帰に向けての準備を整えます。

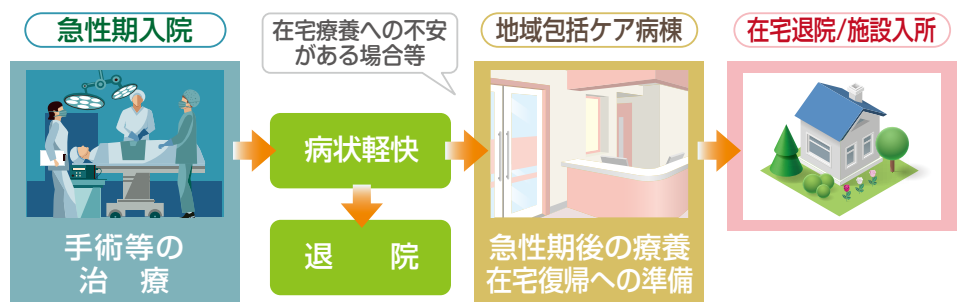
在宅復帰支援計画に基づき、主治医をはじめ看護師、専従のリハビリテーションスタッフ、社会福祉士（MSW）などの多職種が協力し、患者さんの在宅復帰に向けた準備、相談を効率的に行っていきます。

地域包括ケア病棟への転棟の流れ

在宅あるいは介護施設等に復帰予定の患者さんで、入院治療により症状が改善、安定した後、もう少し経過観察や在宅での療養準備が必要な方が転棟対象となります。

主治医が判断し、患者さんおよびご家族の方に提案し、ご了解

ただけた場合、地域包括ケア病棟へ転棟いただき、継続入院となります。地域包括ケア病棟の入院期間は状態に応じ調整いたしますが、60日まで入院が可能ですので、一般病棟よりも比較的ゆっくりと退院までの準備を行うことが可能です。



入院費について

入院費は基本的に定額で、入院基本料、投薬料、注射料、処置料、検査料、画像診断料、リハビリテーション料などの費用が含まれています。治療内容によっては一般病棟より自己負担金が若干増額する場合がありますが、一ヶ月の医療費の負担上限が定められていますので、一般病棟の場合と変わりません。

現在のところ院内からのみ患者さんを受け入れていますが、今後病棟運営が軌道に乗ってきましたら、院外からの受け入れも検討して行く予定です。

入院中に病棟を移り環境が変わることは何かと大変なこともあるかと存じますが、地域包括ケア病棟を活用され、在宅等への復帰に備えて頂きたいと思っております。

救急医療功労者厚生労働大臣表彰 を受賞いたしました

当院は、昭和39年7月から救急告示病院として、24時間365日、桐生市及びみどり市をはじめ、近隣地区の救急医療に対して、積極的に活動を行い、病院群輪番制病院として地域の二次救急医療確保に貢献しております。

このたび、群馬県からの推薦により、平成28年9月9日（救急の日）に、厚生労働大臣から多年にわたる地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した団体として、「救急医療功労者厚生労働大臣表彰」を県内公立病院としては、初の受賞をしました。

今後につきましても、今回の受賞を糧に地域の救急医療等を必要とする患者さんへ、今まで以上に病院全体で積極的に取り組んで参りたいと思っております。



第18回

市民公開講演

テーマ 「高精度放射線治療と新しい抗がん剤」

司会

高橋 満弘 (桐生厚生総合病院 医療局長兼放射線科診療部長)

講演

① 当院に新たに導入する高精度放射線治療装置について

講師

磯 昌宏 (桐生厚生総合病院 放射線科技師長補佐)

② 当院で可能な高精度放射線治療について

講師

村松 博之 (桐生厚生総合病院 放射線科診療部長)

③ がんの薬物治療 ～抗がん剤・分子標的薬から最新の新薬まで～

講師

岡本 亘平 (桐生厚生総合病院 泌尿器科診療部長)

日時

平成29年2月25日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)

参加費無料・申込不要です。当日直接会場までお越しください。

会場 桐生地域地場産業振興センター 中3階 第2ホール

(〒376-0024 群馬県桐生市織姫町2番3号)

駐車場 桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。

問い合わせ先 地域医療連携室 TEL 0277-44-7150

主催 桐生厚生総合病院 (地域がん診療連携拠点病院) 後援 桐生市医師会

※取得単位：日医生涯教育講座 0.5単位 カリキュラムコード4. 医師-患者関係とコミュニケーション

第15回

ハッピー健康相談室

皆さまが、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。

皆さまお誘い合わせのうえお越しください。

日時 平成29年3月9日(木) 14:00～16:00

内容 ① 知って役立つ 介護保険!!

担当：地域医療連携室 看護師 岡村 美幸

② お薬飲み忘れていませんか? ～病院薬剤師・保険薬局薬剤師から～

担当：薬剤部 森田 由香利 桐生薬剤師会 理事 岩島 義規 先生



■ 場所：桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

■ 参加費：無料 (事前申し込み不要)

■ 駐車場：無料 (桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)

■ 問い合わせ先：地域医療連携室 TEL0277-44-7150